

第 142 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 26 年 4 月 18 日 (金) 14 : 30 ~ 17 : 00

場 所 電気倶楽部 B 会議室

出席者 委員長 田辺 (電中研)

委 員 岩佐 (産総研)、内田 (電通大)
大谷 (アンリツ)、作田 (日本大)
福地 (電中研)、福本 (佐賀大)
柳澤 (横河電機)

幹 事 仲嶋 (三菱電機)

幹事補佐 白井 (日電検)、小平 (日電検)

資 料

142-1-1 平成 26 年度 計測技術委員会活動計画

142-1-2 平成 25 年度 計測技術委員会 活動状況

142-2-1 平成 26 年度 計測研究会開催予定

142-2-2 電気学会 研究会企画連絡シート (6 月及び 7 月開催分)

142-3-1 電気学会 A 部門誌 記事提案用紙

142-3-2 電気学会 電気専門用語集の見直しへの協力依頼について

142-4-1 第 8 回及び第 9 回スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会議事録

142-4-2 スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会 活動方針及び報告書

議 事

1. 議事録の確認

- ・異議なく承認された。
- ・ A 部門長より、計測に関する将来の夢を描いたマップのような物ができないかとの打診があった。

2. 運営委員会報告

田辺委員長より運営委員会の報告があった。

- ・直近の運営委員会は 2 月に開催された。
- ・議事内容としては、概ね前回と同じである。
- ・特集論文について、技術委員会と編修委員会との間に意識の差があるようだ。
- ・調査専門委員会の終了報告について、A 部門として報告の形態を新たに文書化する。
- ・技術報告書を提出しない調査専門委員会があるが、すでに解散しているために対応に苦慮している。

3. 平成 26 年度計測技術委員会活動計画及び平成 25 年度計測技術委員会 活動状況

仲嶋幹事より資料 142-1-1 及び資料 142-1-2 に基づき、平成 26 年度 計測技術委員会活動計画及び平成 25 年度 計測技術委員会 活動状況について説明があった。

- ・ 10 月に見学会を予定しているが、次回の委員会までに幹事団が候補地を挙げる。
- ・スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会では 6 月 6 日に見学会を予定しているが、計測技術委員会の見学会とはせずに自由参加とする。
- ・平成 25 年度の計測技術委員会の活動状況は資料 142-1-2 のとおりである。

4. 平成 26 年度計測研究会開催予定

仲嶋幹事より資料 142-2-1 及び資料 142-2-2 に基づき、平成 26 年度 計測研究会開催予定について説明があった。

- ・ 5 月の計測研究会は中止となった。
- ・ 6 月の研究会は青森県の青森県観光物産館アスパムで行う。
- ・ 7 月の研究会は姫路市内で行う。
- ・ 9 月の研究会について、開催時期を 10 月初旬に移す提案があった。
- ・ 11 月の佐賀大学での研究会について、11 月 20 日、21 日の 2 日間で行うことになった。
- ・ 12 月の研究会について、18 日、19 日の開催で検討する。
- ・ 委員の交代に伴い、研究会の担当委員を調整した。

5. 電気学会 A 部門誌 記事提案及び電気規格調査会からの依頼について

田辺委員長より資料 142-3-1 に基づき、電気学会 A 部門誌の記事提案について説明があった。

- ・ 編修委員会から各技術委員会に対し、数年に一度、論文誌で特集号を組むよう依頼がある。
- ・ 今回の依頼に対し、テーマは「スマートな社会を支える最新計測技術」、掲載希望号については平成 27 年 12 月号以降と回答した。
- ・ どのような内容にするかはもう少し検討する。
- ・ 特集号の解説記事について、調査専門委員会の技術報告書の紹介するような内容が可能かどうか調査する。

また、白井幹事補佐より資料 142-3-2 に基づき、電気学会 電気専門用語集の見直しへの協力依頼について説明があった。

- ・ 資料 142-3-2 のとおり回答した。
- ・ 内容によっては外部の専門家に依頼するかもしれない。

6. 調査専門委員会について

岩佐委員より資料 142-4-1 及び資料 142-4-2 に基づき、スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会について説明があった。

- ・ 第 8 回及び第 9 回の議事内容については資料 142-4-1 のとおりである。
- ・ 活動方針及び報告書について資料 142-4-2 のとおり提出した。
- ・ 6 月 6 日に福島高専の施設見学会を予定している。

7. その他

- ・ 研究会の合同開催において、受賞者選定の際のエントリー元について知る手段があるかどうか電気学会に問い合わせる。
- ・ 熊本での研究会後の意見交換会について、活発な議論があり有意義であった。意見交換会を開催する場合、その名称は「技術交流会」とした方がよいのではないか。
- ・ IEEE の AWARD について、確認中であるが受賞者 1 名が辞退する可能性がある。
- ・ IEEE の支援費の上限額が変更になった。

次回予定

日 時 平成 26 年 7 月 11 日 (金) 14:30 ~ 17:00

場 所 未定